



緊急報告!!

アークの看板を壊すのは誰?

静

かな農村の山麓にあるアークでは来苑されるお客様のためにバス停からアークまで曲がり角等要所要所に矢印で道順を示した案内板を設置しています。初めての方には電話で説明するにも目立つ目印も無く、とてもわかりにくい為です。

最近この案内板が何者かによって壊されるという事件が連続して発生しています。



以前から小さな矢印は幾つか立てていましたが、阪神大震災の後、アークが被災動物の保護施設となったため大勢の方々が来られるようになり、村内で道に迷われたり近隣の方に道を尋ねたりするケースが続出した為、地元自治体から道案内の看板を立てるように要請があったのを機に正式に村内4ヶ所に木製の看板を作りました。

ところがお盆休み前のある朝、これらの立て札が4本とも根元から引き抜かれ陰も形も無くなっていたのです。夏休み中でもあり、ましてお盆休みにはボランティアやその他の方々が大勢来られるのに道順をお教えるのにも差し障りがあり、又実際に多くの方が当惑された事と思います。致し方ないので新たに設置する事にし、今度は専門の業者に依頼して簡単に持ち運びが出来ないよう重いコンクリートの土台が付いた鉄製の軸にアクリル板を取り付けた本格的な物を作りました。費用は1本1万円かかりましたが役所にも正式に許可を取って早速主要な箇所に設置しました。しかし3日もしないうちに今度は全てのアクリル板がへし折られ土台だけになっていたのです。実はアークの看板が壊されるのは今回が初めてではなくこれで通算5度目になります。今までは憤りを感じながらもそのつと作り直してきましたが我々の我慢にも限度があります。今度はお金もかかっていることなのですぐ警察に被害届を出しました。この製作費は皆様からいただく会費や寄付等の財源から支出しているので、広く言えば皆様方も被害者と言え

るでしょう。

一体だれが何のためにこのように愚かなことを執拗に繰り返すのでしょうか? ただの悪戯にしては度がすぎますし、アークに関係のない人がわざわざこんなことをするとも思えません。何かアークに恨みがあつての嫌がらせか又はアークの活動妨害が目的なのか、それとも犯人はこの破壊行為によって何らかの利益が得られるのでしょうか?

これ迄にもアークや代表のオリバーを中傷した内容の怪文書がマスコミ(NHK)その他に配布されたことがありました。原文のコピーを入手しましたが文章・内容共非常に次元が低く、事実をわざと悪意に曲解したこと及び事実無根の事柄を列挙し、このようなアークを取材し放映した(原文の表現を借りれば、アークの宣伝をした)NHKを非難しその責任を追求したものでした。名誉毀損又は偽告罪で告訴も可能でしたが、このような相手に費やす時間と費用を本来の活動である動物保護にあてる方が有意義であるし真実はただ一つ、真面目に取り組んでいればいづれ世論の信頼も得られると考えて、一切を無視しました。

この他、昨年あたりから主に関東地方でアークを故意に誹ぼうする様な流言が吹聴されているという情報を得ていますし、最近の噂では「アークを潰す」と公言している人物もいるとか。事実は確認していませんがもし本当ならば許しがたいことです。事実、数年前にこのような事を画策したグループがあったのです。(関係人物名は全てわかっています)

アークは、日本の文化に魅せられて英国から来日したエリザベス・オリバー代表が動物に対する日本人の考え方が英国とあまりにも違い過ぎ、特に捨犬捨猫の悲惨な現状に少なからずショックを受け見るにみかねて個人的に保護活動を始めたのが前身で、いわば無責任な日本人の尻拭いを外国人にさせているといっても過言ではなく(これは日本の恥以外の何物でもありません)この実情を遺憾に思った人達の協力を得て設立された純粋なボランティア団体です。当初はささやかな施設でしたが地道な努力が実を結び、また予想だになかった阪神大震災時に

いち早く救護活動を開始したこともあってマスコミにも度々取り上げられ(怪文書が出回ったのはこの頃です)我々が望むと望まざるとに係わらず今では広く存在を知られるようになりました。

このような施設に協力するところか逆に妨害するとはどのような理由からなのでしょう。日本人として(詳しくは調査を待たないとわかりませんが、恐らく外国人ではないと思われます)はすかしくないのでしょうか?

これらの所業は日本の国際的信用を傷つける国辱的行為です。過日イギリスの総領事がアークに来られた際、なぜ案内板がないのかと尋ねられ、訳を説明しますと非常に立腹され、領事館から関係官庁の国際部を通して正式に府警に調査を依頼するとのことでした。アークでも独自に調査をすすめています。

もしアークが何者かの画策によって運営が不可能になったらこの動物達はどのようなのでしょうか? 我々は趣味や私利私欲のためにやっているものではありません。ここで保護する必要のある動物が1頭もいなくなり、一日も早くこのような施設が不要になる日が来ることを心から望んでいるのです。しかし、日本の現状では残念ながらそのようなことは夢に等しいでしょう。とにかく今は断じてアークを潰すわけにはいかないのです!! とは言え私達も神ならぬ身、鳴き声や臭い等心ならずも近隣にご迷惑かけている事もあるでしょうし、地元の方々のご厚意や忍耐に甘えている事も、又英国人と日本人との考え方、受け取り方の相違から生じる誤解など行き届かぬ点多々あり、これらに関しては非常に申し訳なく思っています。



アークの近くに犬や猫をわざと捨てていく不心得者がおり、そのことでアークに苦情があるのも事実です。しかし我々は「やり方に不備はあっても、やっていることは間違っていない」と自負しています。もし異論があるなら正当な方法での異議申したてならば協議のうえ、善処することもやぶさかではありません。日本人の自覚と誇り、そして人間としての良識を持っているならば、このように卑劣で愚かな行為はいずれは自滅につながるであろうことを悟り、直ちに終止符を打たれることを切に願ってやみません。

アーク諮問委員会